

第 1 2 章 公 害 の 苦 情

第 1 節 公害苦情の件数

1 公害苦情の件数

平成27年度の公害に関する苦情件数は193件で、前年度よりも21件増加しています（表12-1、図12-1）。

表12-1 年度別公害苦情の件数

年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	地下水	その他	合計
18	26	46	49	20	98	0	0	5	244
19	26	64	60	7	80	0	3	6	246
20	21	51	70	6	88	0	1	3	240
21	13	44	69	8	73	0	1	2	210
22	18	49	85	22	51	0	1	5	231
23	8	31	72	10	52	0	1	1	175
24	16	42	74	9	48	0	1	6	196
25	14	34	74	14	50	0	1	8	195
26	11	30	89	7	27	0	0	8	172
27	7	42	86	11	41	0	3	3	193

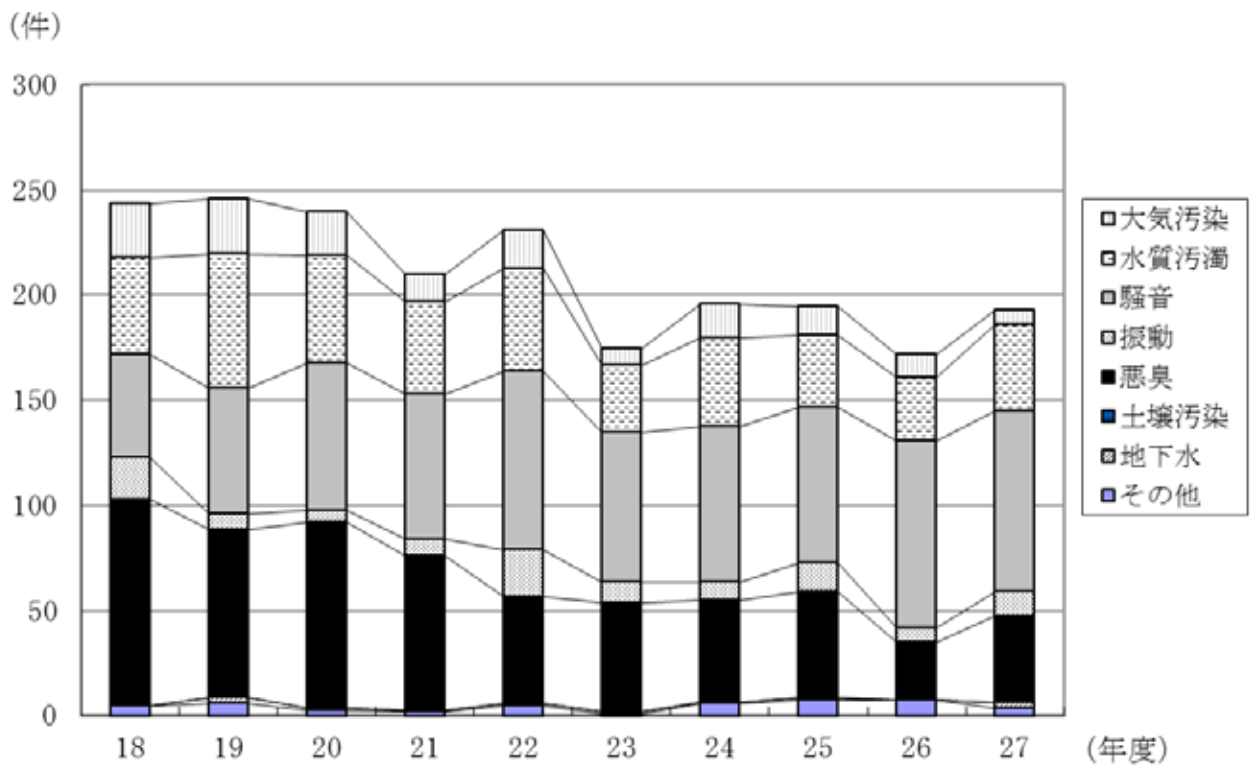


図12-1 年度別公害苦情件数の推移

2 種類別の苦情件数

苦情件数を種類別にみると、騒音の苦情が最も多く、以下、水質汚濁、悪臭の順となっています（図12-2）。

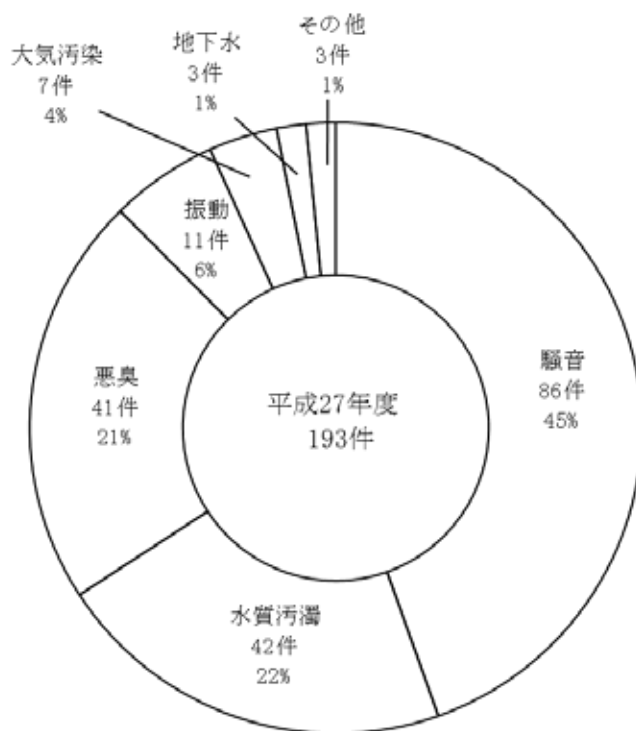


図12-2 種類別苦情件数

3 月別の苦情件数

苦情件数を月別にみると6月が最も多くなっています（図12-3）。

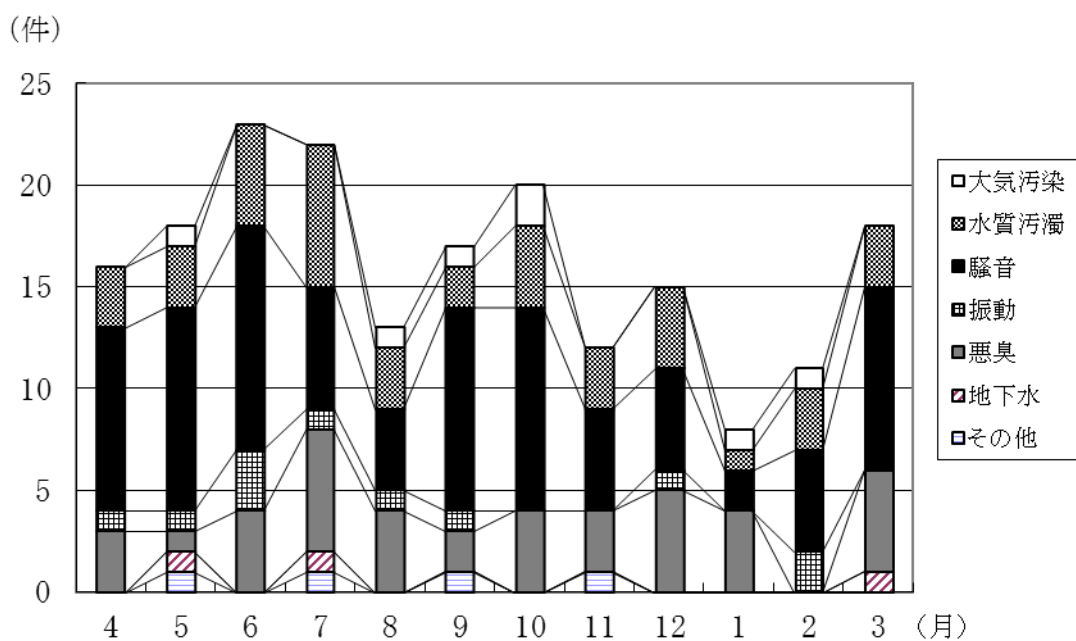


図12-3 月別の苦情件数

4 業種別の苦情件数

苦情発生源を業種別にみると、苦情件数が最も多かったのはサービス業の50件で、次いで、総合工事業の40件、家庭生活(ペットも含む。)の17件、その他工事業の14件となっています(表12-2)。

表12-2 発生源の業種別の苦情件数

業種	大気	水質	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計	
耕種農業									
畜産養蚕農業					3			3	
農業サービス業					1			1	
林業									
漁業									
金属工業									
石炭原油鉱業									
非金属工業									
総合工事業	3	1	27	4	3	1	1	40	
その他工事業		3	7	3	1			14	
製造業	食料品製造業	2	1			5	1	9	
	繊維工業								
	木材製造業								
	パルプ製造業								
	出版関連産業								
	化学工業								
	石油製造業								
	プラスチック製造業								
	ゴム製造業								
	窯業等製造業								
	鉄鋼非鉄金属								
機械器具製造									
その他製造業									
(小計)	2	1			5		1	9	
電気ガス等			1					1	
水道業									
鉄道業			1	1				2	
旅客輸送業									
貨物輸送業		1						1	
航空運輸業									
その他運輸業									
サービス業	再生資源卸売								
	卸売・小売業		1	3		1		5	
	飲食業		2	3		3		8	
	飲食店のカラオケ			3				3	
	洗濯理容業等		1	3		1		5	
	駐車業								
	生活関連サービス		1	1				2	
	旅館等			1				1	
	娯楽業	1	1					1	3
	娯楽業のカラオケ			1					1
	ゴルフ場業等								
	自動車整備業			1		4			5
	機械修理業			1					1
	専門サービス業								
廃棄物処理業		3		1	2			6	
医療業等		1	2	1				4	
社会保険福祉		1	2					3	
教育等		1	1					2	
その他サービス業					1			1	
(小計)	1	12	22	2	12		1	50	
公務			2					2	
家庭生活		6	5		5			16	
家庭生活ペット			1					1	
事務所			3					3	
道路				1	1			2	
空地						1		1	
公園									
神社寺院等									
その他	1	7	13		2	1		24	
不明		11	4		8			23	
合計	7	42	86	11	41	3	3	193	

5 用途区域別の苦情件数

苦情の発生源を用途地域別にみると、苦情件数が最も多かったのは住居区域の90件で、次いで調整区域の27件、商業地域の26件となっています（表12-3）。

表12-3 用途地域別公害苦情件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計	比率%
住居区域	2	15	52	6	13	1	1	90	46.6
近隣商業		1	8	2	3			14	7.3
商業	1	3	14		6	1	1	26	13.5
準工業			4		4			8	4.1
工業		1	1					2	1.0
工業専用	2				3			5	2.6
調整区域		10	3	2	10	1	1	27	14.0
その他	2	11	2	1	2			18	9.3
特定できず		1	2					3	1.6
合計	7	42	86	11	41	3	3	193	100

6 被害の種類別の苦情件数

苦情原因を被害の種類別にみると、苦情件数が最も多かったのは感覚・心理的の150件で、次いで健康の36件となっています（表12-4）。

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計	比率%
健康	3	3	16		10	2	2	36	18.7
財産				1				1	0.5
動物・植物		1						1	0.5
感覚・心理的	3	34	70	10	31	1	1	150	77.7
その他	1	4						5	2.6
合計	7	42	86	11	41	3	3	193	100

表12-4 被害の種類別公害苦情件数

第2節 公害苦情の概況

1 大気汚染

苦情件数は7件で前年度より4件減少しました（図12-4）。

ばい煙に関するものが2件、粉じんに関するものが5件となっています。

建設作業中の散水不足による粉じん被害が4件と多く、施工業者への周知及び指導を行っています。

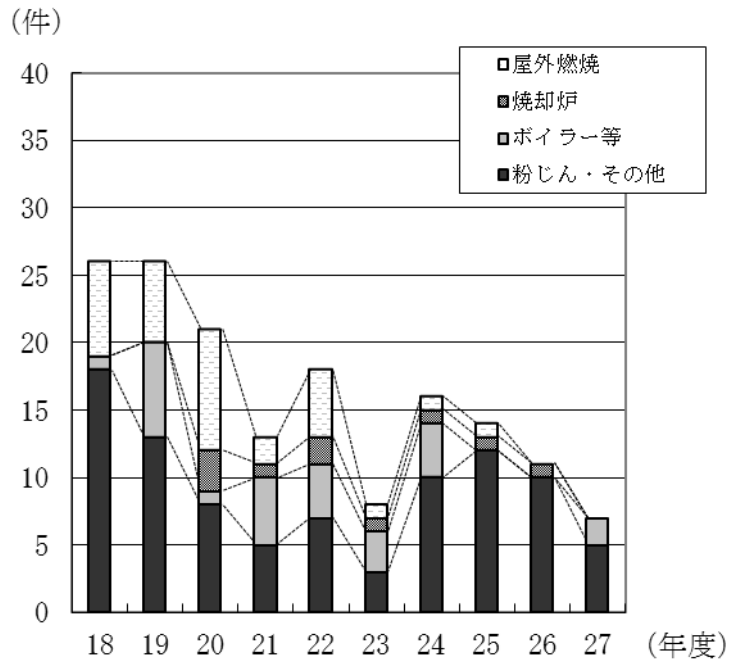


図12-4 大気汚染苦情内訳

2 水質汚濁

苦情件数は42件で前年度より12件増加しました（図12-5）。

種類としては、汚水32件、油流出9件、へい死魚1件となっています。

河川汚濁事故対策としては、発生源に対する汚水処理の適正指導、汚濁物質の取扱い事業所に対する文書指導、広報誌による意識啓発等を行っています。

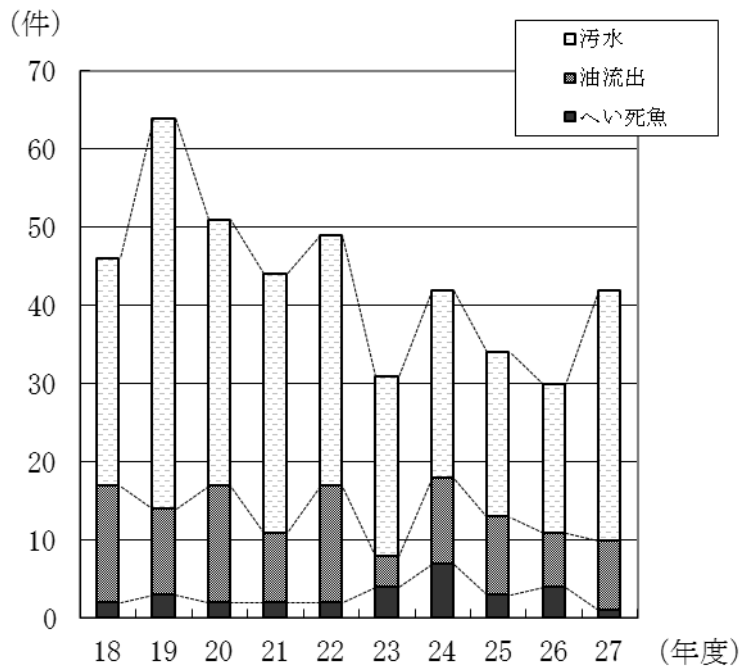


図12-5 水質汚濁苦情内訳

3 騒音

苦情件数は86件で前年度より3件減少しました（図12-6）。

発生源としては、工場・事業場等16件、建設作業37件、営業騒音6件、拡声機放送8件、その他自動車や家庭生活等19件となっています。

聞く人の身体や心理の状態、聞く時間や周囲の状況によってうるさく感じる度合いが異なり、また、個人の感情面にも左右される要素があります。

さらに、発生源と苦情申立者が隣接しているにもかかわらず、当事者間での話し合いが持たれる前に、苦情として市に申し立てられることが多く、隣人同志のコミュニケーション不足も都市・生活型公害が増加する大きな要因となっています。

現代の都市形態の中で、快適な暮らしを維持していくためには、自分自身の生活だけでなく、他人の生活への配慮が必要です。

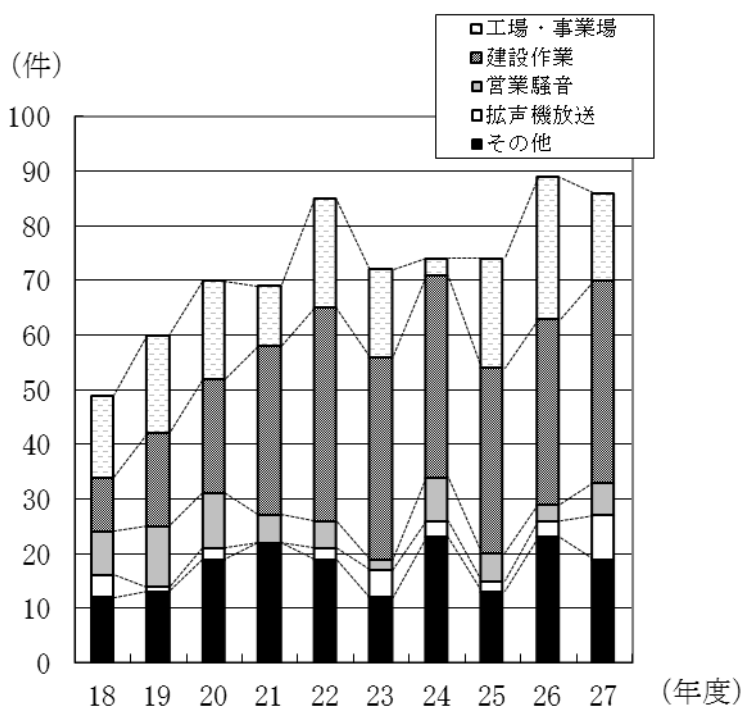


図12-6 騒音苦情内訳

4 振動

苦情件数は11件で前年度より4件増加しました（図12-7）。

発生源の内訳は、工場・事業場2件、建設作業7件、道路交通1件、その他1件となっています。

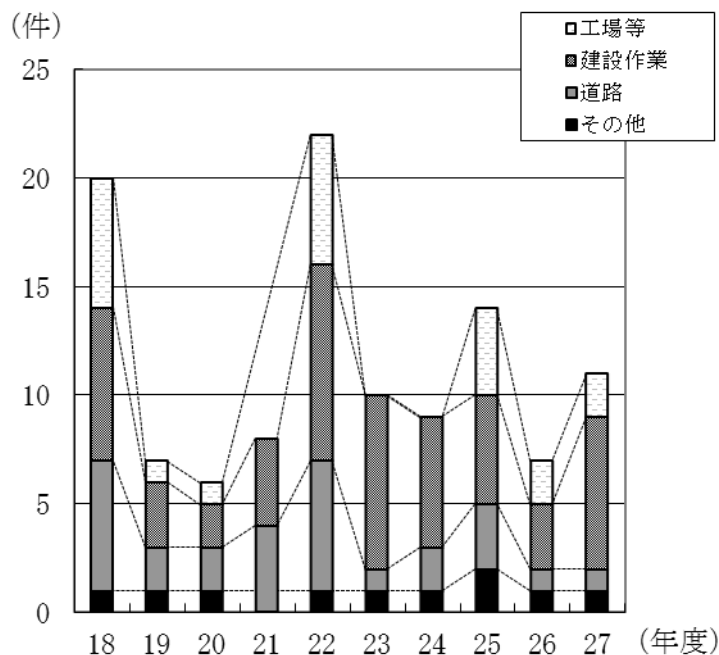


図12-7 振動苦情内訳

5 悪 臭

苦情件数は41件で前年度より14件増加しました。主な苦情発生源は畜産・農業3件、家庭生活3件、工場・事業場16件、塗料のシンナー臭5件、その他側溝等11件となっています（図12-8）。

農地の宅地化に伴う悪臭苦情が増加しています。また、消毒剤に関する苦情など、騒音苦情同様、当事者間のコミュニケーション不足による申立てが増加しています。

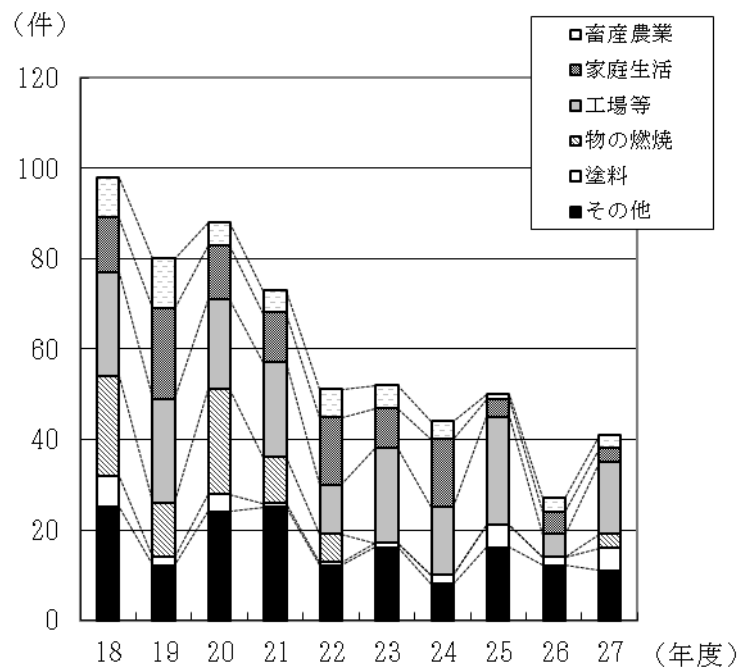


図12-8 悪臭苦情内訳

